

# 第1章 広島県のすがた

## 1 広島県の地勢

本県では、中四国地方のほぼ中央に位置しており、県の北部は中国山地の脊梁部<sup>せきりょうぶ</sup>を隔てて島根・鳥取の両県に、東部は吉備高原に沿って岡山県に、西部は安芸西部山地を境に山口県に隣接し、南部は気候穏和な瀬戸内海に面し、芸予諸島等、大小138もの島々を挟んで、四国の愛媛・香川両県と相対しています。

また、北の中国山地、南の四国山地に挟まれていることから、夏・冬の季節風の影響を受けにくく、梅雨・台風時期を除き、一般的に夏の降雨量、冬の降雪量ともに少なく、晴天が多いという瀬戸内海式気候に属します。

このように、瀬戸内面、吉備高原面、脊梁山地面<sup>せきりょうざん</sup>とよばれる三段の階段状の隆起準平原<sup>りゅうきじゆんへいげん</sup>が織りなす複雑な地形や気候等が絡み合いつくり出された瀬戸内海国立公園、南原峡、山野峡等の県立自然公園等の豊かな自然景観のもと、世界遺産登録をされた厳島や上野池等の風致地区で代表されるように、自然と人とが共生することにより生み出されるめぐまれた自然環境の素晴らしさが人々を引きつける魅力の一つとなっています。

そして、県土利用については、北部県境に中国山地を配しているため、森林原野の面積が最も多く、県全体の71.8%（全国平均：65.5%）を占め、一般住宅地・商業地・工業用地等の宅地は、瀬戸内海沿岸を中心に県全体の8.8%（全国平均：10.6%）となっています。市街地は、主に太田川、芦田川、沼田川、江の川等の中・下流域の堆積層地帯を中心に形成されてきました。

（県土利用数値：総務省統計局「社会生活統計指標2021」）

### 【人口】

2,801,388人（全国12位）

1,241,484世帯（全国11位）

（令和2年国勢調査-速報値-）

高齢化率 27.5%（全国平均26.6%）

（平成27年国勢調査）

### 【面積】

847,964ha（全国11位）

（令和2年全国都道府県市区町村別面積調査）

### 【気温・降水量】

年平均気温 17℃内外

年間降水量 1,382mm内外

（総務省統計局「社会生活統計指標2021」）



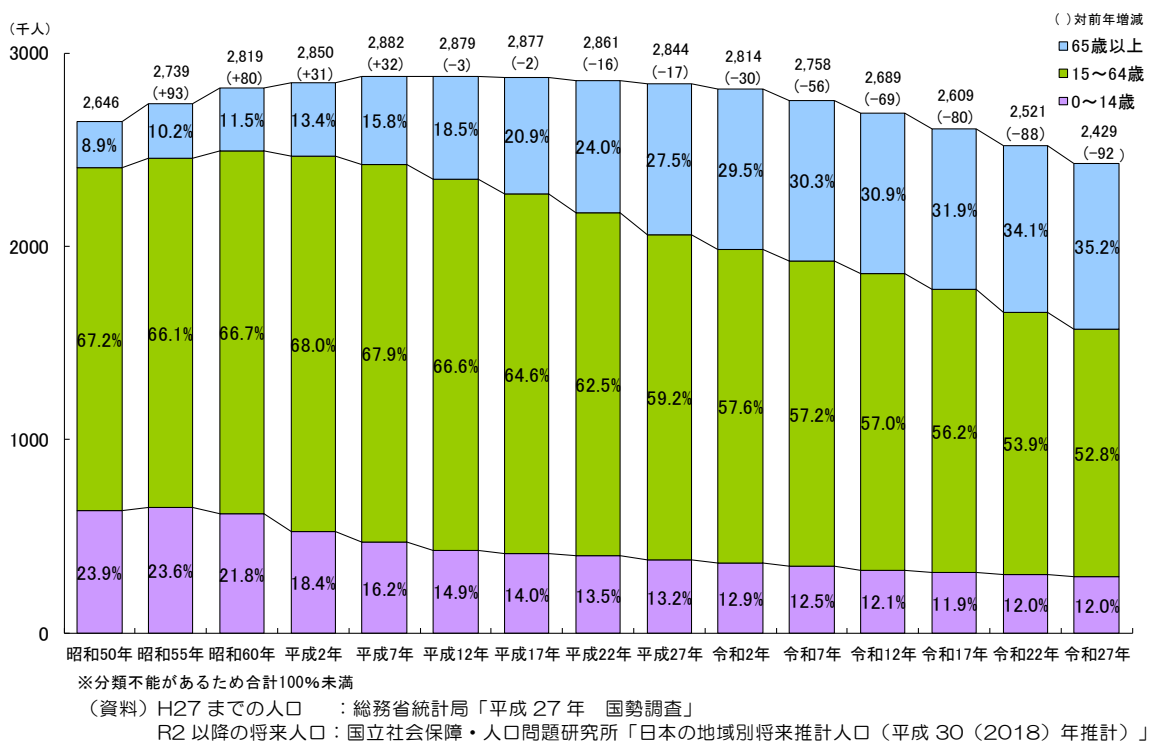
## 2 人口・経済の見通し

本県の人口は、平成7年まで増加傾向にありましたが、平成12年を境に、近年は減少傾向に転じています。

また、産業・経済活動の低迷や都市の拠点機能、地域活力の低下など構造的な問題が懸念されるほか、土砂災害警戒区域の指定箇所数が全国で最も多いなど、自然災害に対する脆弱性を抱えており、その対応が急務となっている状況にあります。

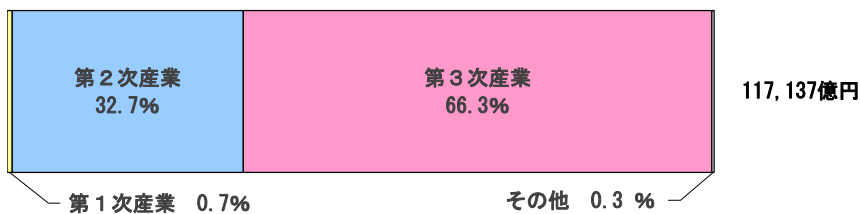
こうした中、少子高齢化、都市化の終息、社会資本の投資余力の減少など今日の社会情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応するとともに、新たな社会経済基盤の形成や災害に強い都市づくりを推進し、県民生活の向上や経済活動の新たな展開を考慮した都市政策に取り組む必要があります。

### ■広島県の人口推移と見通し



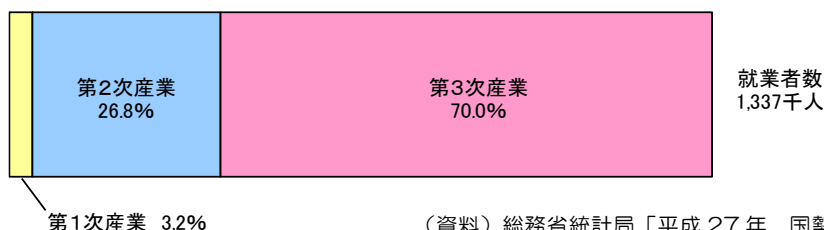
### ■広島県の経済

#### ●県内総生産(名目)



(資料) 広島県 平成30年度広島県県民経済計算結果

#### ●就業者の産業別割合

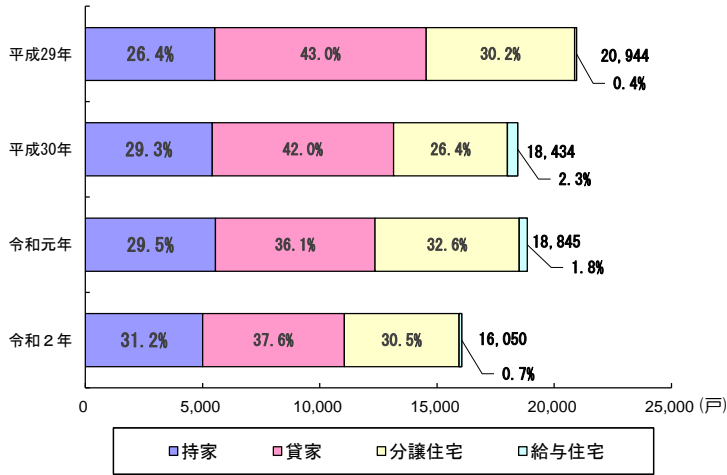


(資料) 総務省統計局「平成27年 国勢調査」

### 3 産業及びその他の主要な指標

#### ●住居

着工新設住宅戸数

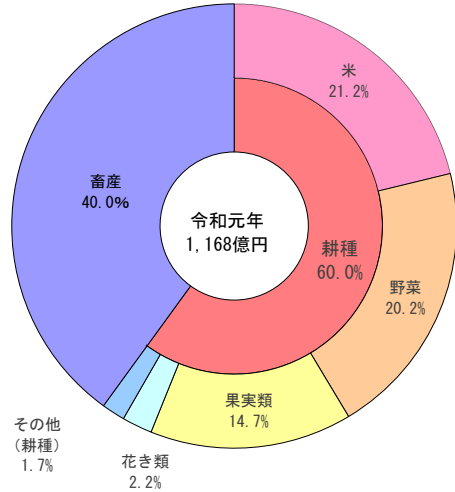


(注) 給与住宅とは社宅、公務員住宅等のことをいう。

(資料) 国土交通省「2020年建築着工統計調査」

#### ●農業

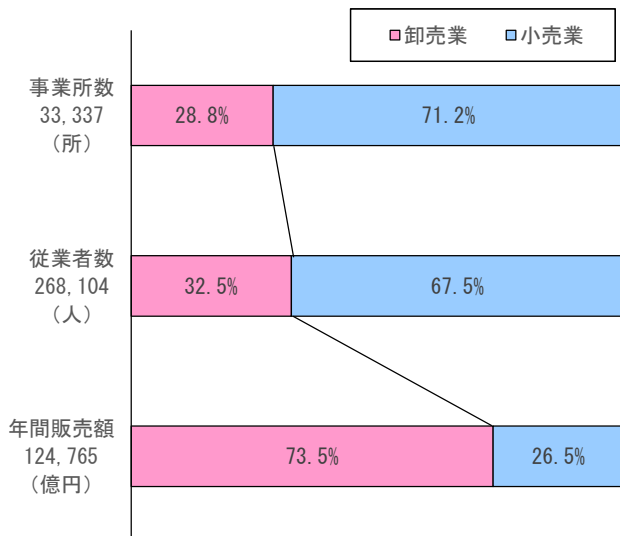
農業産出額



(資料) 農林水産省「令和元年生産農業所得統計」

#### ●商業

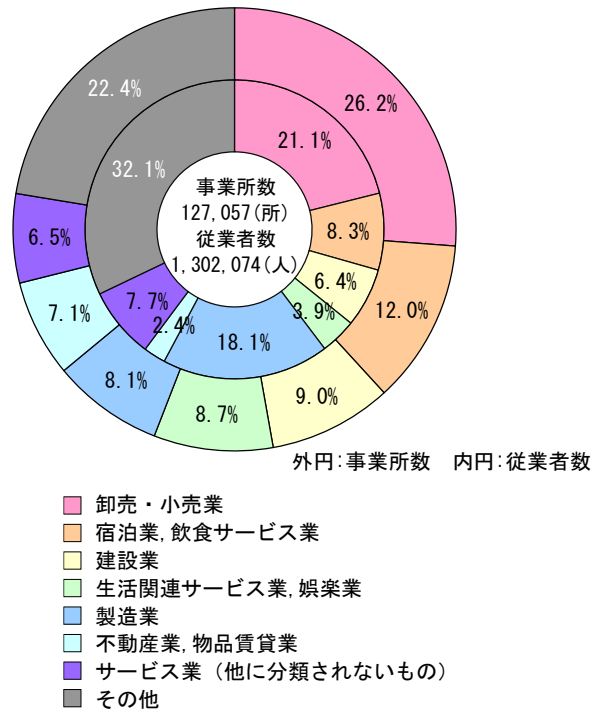
商業の構造



(資料) 経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」

#### ●事業所

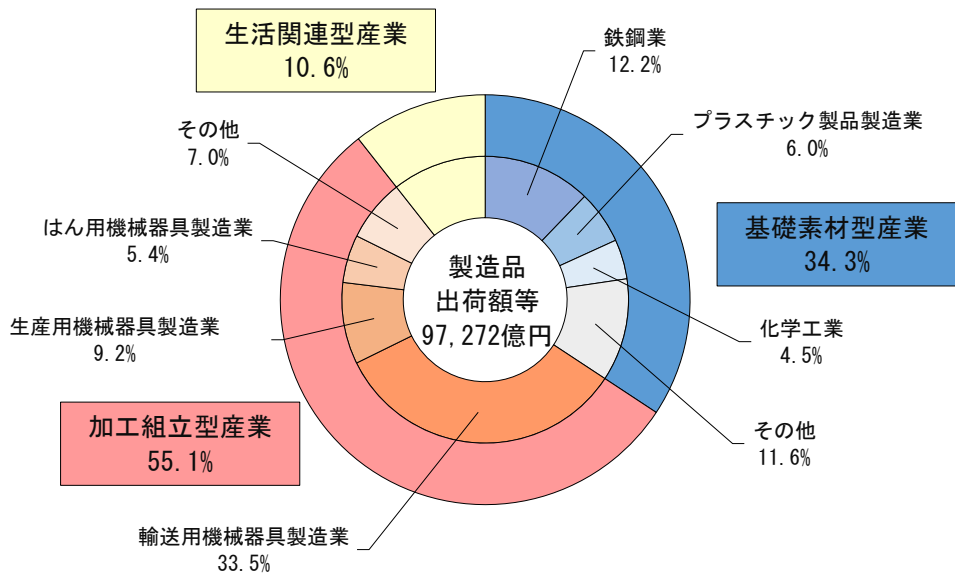
産業別事業所及び従事者



(資料) 経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」

●工業

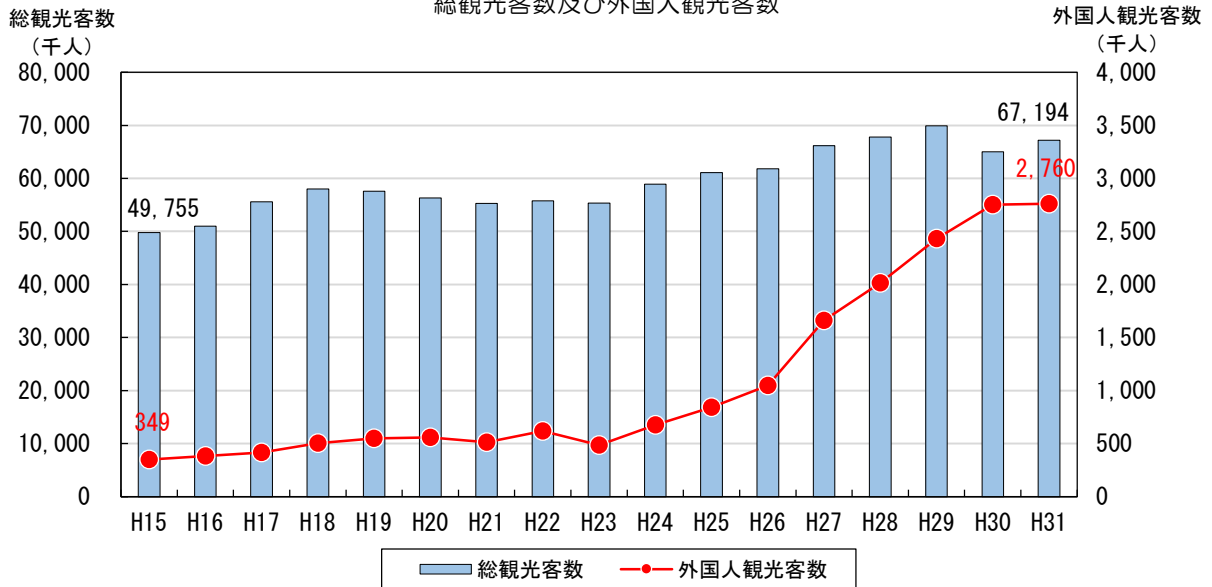
工業の構造



(資料) 経済産業省「令和2年工業統計調査」

●観光

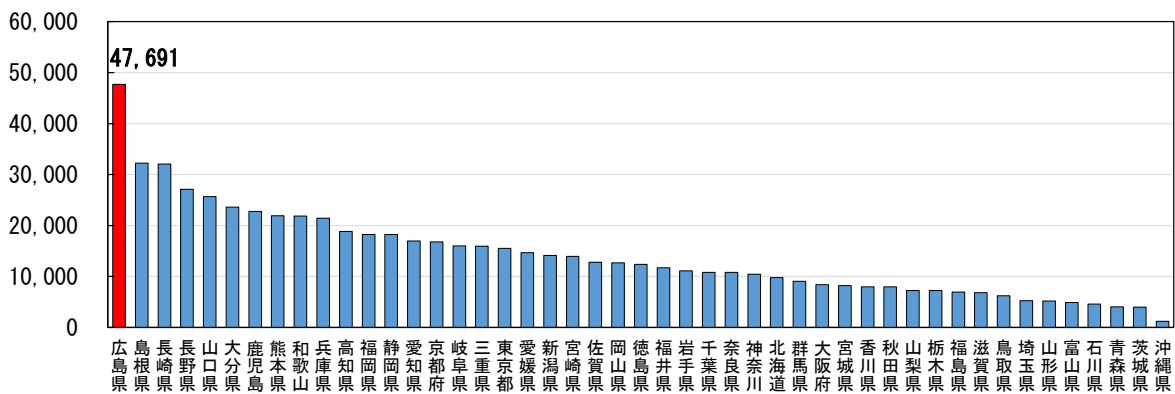
総観光客数及び外国人観光客数



(資料) 広島県「平成31年広島県観光客数の動向」

●土砂災害警戒区域の指定状況

(箇所)



(資料) 国土交通省「全国における土砂災害警戒区域等の指定状況」(2021年3月31日時点)